

編集後記

医と史を学会名にいただく本学会の63巻1号をお届けします。活字メディアとしての本誌論文の学会HPでの公開は雑誌掲載後5年を経たものとしております。ネットの検索に於いてもその5年間の掲載論文は読めないしくみです。最新の知識を求める技術の世界と少し異なる学の世界があってもよいことだと考えます。本誌を手にする本学会の会員の方は本誌が今はそのような雑誌であることを是非有効に活用してください。

世界では今、歴史的に大変なことが起こっているように思われます。地球規模の自然変化や先端科学の進歩について、一般のメディアではわかりにくいのですが、政治的な動きは即時的に世界中に伝わる現代において、その仕組みに不安を感じることが続いております。NHSを医療制度のモデルとして、EUの中で大きな存在感のあった英国はBrexitを選択しました。国家としての医療保障制度の不完全であった米国において、オバマケアとして妥協された苦肉の制度について、トランプ新大統領は就任の日に見直しの大統領令に署名したということです。国民皆保険制度として世界に冠たる仕組みを誇る日本の医療保障制度もその先行きは不透明です。身近な医療制度のことのみでなく社会が大きな転換期にあるようにおもいます。

本号には、オランダ、台湾とかかわる日本語の論文、そして西洋美術解剖学史、乳岩史研究が掲載されました。日本の医学の歴史が世界の歴史の中で、その存在が決して小さいものではないことに本誌を手にする方はいつも気づかれることだと思います。是非そのような意味での投稿原稿が増えることを期待します。本誌は世界中で読まれております。

(渡部 幹夫)